



## 3月16日～31日の活動報告

### ●2021年度 第3回国際委員会

日時：3月18日(金) 12:20-13:30  
場所：ホテル金沢(オンライン併催)  
参加者：16名(会場7名、オンライン9名)

江守委員長より冒頭、まん延防止等重点措置の解除によりコロナ禍が収束を切に願う一方、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う原料高騰により、日本、世界経済に深刻な影響を危惧する旨の発言があった。

委員会では、「2021年度事業計画の実施状況と評価・方向性」、および「2022年度事業計画(案)」について審議した。

「2022年度事業計画」では①2022年度はアフターコロナの本格的な事業活動再開への過渡期と位置付け、可能な事業活動から準備を開始する、②デジタル技術の活用による、最新の情報を発信する、③国・自治体・大学・経済団体等と広域連携に取り組む旨、述べられた。

質疑応答では、各事業計画について各委員から多数の示唆に富む助言や要望等の発言があり、今後の事業活動の中で鋭意検討することとした。



(担当：小島・高道)

### ●2021年度 第3回社会基盤委員会

日時：3月28日(月) 12:20-13:30  
場所：ホテル日航金沢(オンライン併催)  
参加者：18名(会場：13名、オンライン：5名)

光野委員長は開会挨拶の中で、北陸新幹線、道路、港湾、空港の整備促進に関して当会の取組みのポイント等について説明された。

委員会では、「2021年度事業計画の実施状況と評価・方向性」、および「2022年度事業計画(案)」について審議した。

各委員からは、国土強靱化や観光・ビジネスの観点における北陸新幹線全線開業の重要性、関西への機運醸成の取組、地方の鉄道・バス事業者に対する財政支援、北陸地域における鉄道・道路・空港の有効的活用、日本海側の港湾整備等、幅広い意見が出された。



(担当：高島・神地)

### ●企業誘致説明会

日時：3月28日(月) 15:00-16:00

北陸国際投資促進会議(北陸三県、北陸電力、北経連)は、北陸地域への企業進出に関心のある企業を対象に、各県の企業立地に関するアピールポイント等を説明することにより、北陸地域への企業誘致につなげたいと考えている。今回、新たな事業所の開設を考えている東京のIT企業を対象にオンライン説明会を開催した。

各県からは、自県の企業誘致に関する様々な支援制度や誘致実績等について説明がなされた後、質疑応答では活発なやりとりが行われた。今後は、各県が企業にアプローチし、企業誘致に向けて努力していく。

なお、4月7日(木)に大手印刷会社を対象に同様の説明会を開催する。



(担当：小林)

### ●2021年度 第3回新たな価値創出委員会

日時：3月29日(火) 12:20-13:45  
場所：ANAクラウンプラザホテル金沢  
(オンライン併催)

参加者：21名(来場:11名、オンライン:10名)  
北村委員長から開会挨拶の中で労働生産性を向上させるにはDX推進やオープンイノベーションで商品・サービスの付加価値を高めていく取組みが必要と述べられた。

委員会では「2021年度事業計画の実施状況と評価・方向性」および「2022年度事業計画(案)」について審議した。また、(一財)北陸産業活性化センターから「北陸RDX 令和3年度の事業実施状況」を紹介した。

2021年度実施報告の中では、今年度から取組み始めた会員から情報交換テーマを募り開催した5件の北陸産学技術交流会(情報交換)の実施内容および参加者・主査のアンケート結果について報告した。アンケート結果から一定の評価を得たことから、来年度も開催することとした。

各委員からは、IoT・AI等のデジタル化の講演会テーマ等の要望、大学のデータサイエンス教育の取組み、産学連携した企業の課題解決の取組みについて発言があった。



(担当：坂井・渡辺)

### ●新たな価値創出オンライン講演会

日時：3月29日(火) 14:00-15:00

場所：ANAクラウンプラザホテル金沢  
(オンライン併催)

参加者：75名(会場:20名、オンライン:55名)

北陸先端科学技術大学院大学学長 寺野稔氏を講師に迎え、「北陸地域の活性化と人材育成への北陸先端大の取組み」と題し、新たな価値創出オンライン講演会を開催した。なお、本講演会は各商工会議所等の関係団体を通じて会員以外の方も聴講した。

寺野学長からは、北陸先端大の概要、特色ある産学連携活動、最近の研究成果、地域人材育成の取組みについて紹介があった。

産学連携活動では、URA(リサーチ・アドミニストラー)の訪問活動によるニーズ収集、北陸三国立大学も共催となり開催したMatching-HUB北陸、経産省事業に採択された北陸RDXとの連携などの紹介があった。

また、最近の研究成果では学内複数の研究チームが連携して研究を行っている「サイレントボイスセンシング」「超越バイオ医工学研究拠点」等、地域人材育成では「デジタル化支援センター」および「産業界と連携した博士人材育成制度」などについて紹介があった。



(担当：坂井)

### 今後の行事予定

#### ◆【実施】2021年度第3回 人財活躍推進委員会

日時：4月4日(月) 12:20-14:00

場所：ホテル金沢(オンライン併催)

対象：委員へ案内済

#### ◆【実施】2021年度第3回 観光委員会

日時：4月6日(水) 12:20-14:00

場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)

対象：委員へ案内済

#### ◆【実施】2021年度第4回 総合対策委員会

日時：4月19日(火) 12:20-14:00

場所：ホテル日航金沢(オンライン併催)

対象：委員へ案内済

### お知らせ

#### ■日本経済団体連合会(経団連)・北経連からのお知らせ「個別ビジネスマッチングの募集」

北陸経済連合会と日本経済団体連合会(経団連)は、2016年9月に「地域経済活性化に向けた連携協定」を締結しました。

本取り組みは、2021年11月に経団連が新たに策定した、『地域協創アクションプログラム』の連携先の一環として「地域経済界(各経済団体)・大学」に組み込まれ、ビジネスマッチング(個別紹介・ワークショップ開催)等の推進により、北陸地域の中堅・中小企業や大学・研究機関、自治体等と北経連会員企業様との地域間事業協創の促進を図ることとなりました。

是非、詳細(添付資料)をご高覧の上、経団連会員企業他との個別ビジネスマッチングへの参加のご検討をお願い申し上げます。

【詳細】

<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/1450.html>

【連絡窓口】

小島：[kojima@hokkeiren.gr.jp](mailto:kojima@hokkeiren.gr.jp)

高道：[takamichi@hokkeiren.gr.jp](mailto:takamichi@hokkeiren.gr.jp)

(担当：小島・高道)

#### ■生物系特定産業技術研究支援センター(BRAIN)からマッチングウェビナーのご案内

生研支援センターは、「スタートアップ総合支援プログラム(SBIR支援)」により、農林水産・食品分野で新たなビジネスを創出する研究開発型スタートアップ(起業を目指す者を含む)を支援しています。このたび、本プログラムでスタートアップ等が取り組んでいる研究開発や事業化構想をご紹介し、事業会社や投融资機関の皆様と交流するイベントを開催します。

【日時】4月13日(水) 16:00-18:00

【形式】オンライン(Zoom)

【対象者】農林水産・フードテックの分野で

・新しいビジネス機会

・スタートアップと連携した地方創生

・新しい技術シーズ



・投融資の機会  
に興味・関心のある企業の皆様

【プログラム】

1. 開会・説明 16:00-16:15
2. 個別意見交換 16:15-17:30
3. 自由意見交換 17:30-18:00

【申込】4月5日(火)までに下の URL より申込

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfT5MgwIU-v5S9H8DawstXppqptEGTfWOrfOwz3kp5L8phTWA/viewform>

【主催】農林水産テック

【問合せ】農林水産テック マッチングウェビナー事務局 (株式会社クニエ 佐藤)

TEL : 070-2648-7378 メール : [satoys@gunie.com](mailto:satoys@gunie.com)

(担当 : 小島・高道)

## ■(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構から 2022 年度 65 歳超雇用推進助成金のお知らせ

生涯現役社会の実現に向けて、65 歳以上への定年引上げ等や高年齢者の雇用管理制度の整備等、高年齢の有期契約労働者を無期雇用労働者に転換した事業主に対して助成し、高年齢者の雇用の推進を図ることを目的とした「65 歳超雇用推進助成金」制度が 4 月から始まります。

2021 年度の 65 歳超雇用推進助成金 (65 歳超継続雇用促進コース) で支給申請できなかった場合の経過措置もあります。詳細は厚生労働省のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000139692.html>

(担当 : 落合)

## ■公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会からの お知らせ

「コロナ禍の米国西岸港湾ストライキの可能性とその物流対策を探る」

コロナ禍における米国西岸港湾ストライキの可能性とその物流対策、および日本の国際競争力を高めるための国際海上輸送の在り方を考察するためのウェビナーが開催されます。

【日時】4月14日(木) 14:00-15:30

【形式】オンライン (Zoom)

【プログラム】

- ①「Drastic Supply Chain Reform—北米対応」  
本田技研工業(株) 二輪事業本部 SCM 部  
企画管理課 課長 永野岳人 氏
- ②「北米向け国際海上輸送の選択肢と西岸ストライキ対策」  
ジャパントラスト(株)代表取締役社長 菅哲賢 氏
- ③パネルディスカッション「日本の国際競争力を高める国際海上輸送の在り方を考える」

モデレーター : (公社) 日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所 遠藤直也 氏  
パネリスト : 本田技研工業(株) 永野岳人 氏  
ジャパントラスト(株) 菅 哲賢 氏

【詳細・申込】

<https://jils.secure.force.com/StudyDetail?productid=a0R5F00000jVelp>

【問合せ】

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

メール : [shien@logistics.or.jp](mailto:shien@logistics.or.jp)

(担当 : 小島)

以上